

# クラブ通信 Vol.184

2023年9月



ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

<https://osaka.seikatsclub.coop/>

TEL. 072-641-5547



7月度実績報告(6/21~7/20)  
 ◎組合員数 19,861人(7/20現在)  
 加入 129人  
 脱退 136人  
 ◎供給高 328,468千円 (計画比 99.7%)  
 (前年比 102.3%)  
 一人当たり利用高 16,534円 (前年比 101.3%)

発行/生活クラブ生協大阪理事会 編集/広報委員会 茨木市清水1丁目21番4号

あじあおり♡つながるウ  
 みんなおいで!生活クラブ

いよいよ来週開催!!

## 43<sup>th</sup> 生活クラブ生協フェスタ



アクセスしてね! /

2023年9月24日 10:00  
 14:00 大阪市花博記念公園鶴見緑地  
 ハナミズキホール&付属展示場



今年の実行委員会メンバーです!



フェスタ当日  
 皆さんの笑顔に  
 出会えることを  
 楽しみにしています

オープニング  
 ジャンプの演奏  
 今年もあるよ

参加することも初めての  
 生活クラブフェスタ!  
 運良く制限が緩和されたときに  
 委員になりました。誰もが楽しめる  
 フェスタになるよう、  
 盛り上げていきます

マイバッグ  
 マイ食器 (マイ箸)  
 持ってきてね

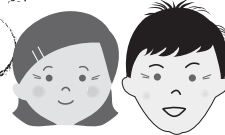
出展数は  
 79ブース  
 賑やかに、  
 楽しみます

みんなで作る  
 フェスタです  
 楽しみましょう

スタンプラリー  
 に参加して  
 賞品 Get

みんなが  
 楽しさとワクワクで  
 つながるフェスタ  
 になりますように

事務局の  
 二人も  
 見守っています



今月の紙面

- Think&Act  
 生活クラブにかかわる私たちの行動原則 …… 2
- 活動の報告 平野・豊能ブロック …… 3
- 関西独自生産者紹介  
 「八ヶ塔会、御牧ヶ原りんご農場、あく」と …… 4
- 「よやく・る」消費材の紹介 りんご …… 5
- 産地研修Part2  
 八ヶ塔会、新生酪農(株)、三村牧場 …… 6
- 居場所づくりプロジェクト 勝部麗子さん講演会 …… 7
- エコロ共済 「生活と自治」 理事会報告  
 KF-RCに関する報告 つぶやき …… 8

活動の報告

どうする!?  
酪農家の危機

ずっと飲み続けたい  
「私たちのパステライズド牛乳」



23年度は、より広い範囲に呼びかけ、より多くの組合員に参加してもらうため、ブロック単位での企画を行っています。各ブロックでは、今年度の最重要課題「パステライズド牛乳の利用促進」にも取り組み、企画を開催しています。

国内の酪農業界の危機的状況を踏まえ、私たちの安全な食を守るためにも、ただ牛乳として飲むだけでなく、アレンジして風味を変えたり料理に使ったり…。あなたも新たな牛乳の利用法を見つけて、プラス1本の利用を!

6/9 豊能ブロック 池田市 中央公民館  
参加:17人

珈琲工房「まめ福」&牛乳カフェ

コーヒー焙煎ワーカーズ珈琲工房まめ福の能井田さんと酒井さんを迎え、まめ福&牛乳カフェを開催しました。まめ福コーヒーについて知識を深め、コーヒーに合うお菓子の試食や牛乳の飲み比べをしながら牛乳、コーヒーの利用をすすめました。

おいしいコーヒーの淹れ方が知りたいという参加者が多く、最初に少量のお湯を注ぎ粉を蒸らすのが大事で、お湯は約90度前後に、豆は使う分だけ粉にする事がポイントだそうです。

コーヒー焙煎ワーカーズの働き方や仕組みを聞き、やりがいを感じて働く職場作りを目指していると、イキイキと話されていました。そして何より、コーヒーの香りが漂う中での講習会はとても贅沢なものでした。(池田南地区 田端聡子)



ノンホモや低脂肪牛乳の味の違いが分かって、各々良いところを発見しました。

コーヒーや牛乳の学習後、まめ福による実演。ふんわり泡が立っておいしそうですね。

6/20 平野ブロック コミ協ひがしなり 区民センター  
参加:20人

私たちの牛乳「おいしさの秘密♡」  
～新生酪農生産者交流会～



どうして今、酪農家へのカンパや応援基金で2円上乗せされているのでしょうか?

空前の経営危機にある酪農家の今を知ること、そもそも牛乳は体にどういいのか、パステライズド牛乳がどんな牛乳なのかを知ることが私たちには必要であると考え、ブロック企画として生産者交流会を開催しました。

長野県安曇野市から来ていただいた生産者の塚田さんから、製造工程を動画で、そしてレンネット実験で本物の牛乳とはどんなものなのかを教えてくださいました。

またカンパや基金に対する、酪農家からの感謝のメッセージもいただきました。

終わる頃には参加者全員が(国内の酪農業を存続させるために)自分にできることとして、パステライズド牛乳をこれからも飲み続けたい、そしてたくさんの人にすすめてい、と強く答えていたことがとても印象的で、生産者との交流は組合員にとって、とても大切なものと再確認しました。これから地区でその思いを受け取った委員が皆さんに伝えます。企画に是非来てください!

(平野ブロック理事 井上紗代)



レンネット実験の様子

超高温殺菌の市販牛乳(右)とパステライズド牛乳(左)を比較

レンネット実験とは牛乳中の水溶性カルシウム(体に吸収されやすい)が凝乳酵素・レンネットに反応して凝固する性質を利用したもの。超高温で加熱すると水溶性カルシウムが残存しなくなるため、レンネットを加えても固まらない。この実験では、右の超高温殺菌の牛乳は凝固しないことから、体に吸収されやすい水溶性カルシウムがあまり含まれていないことを表している。

生活クラブにかかわる私たちの行動原則

Think&Act

私たちは日々、食べ物や石けん、でんき、共済(たすけあいの仕組み)など、生活クラブの消費材を利用して生活しています。健康のために添加物ができるだけ少ないものを、体と環境への負荷が少ない石けんを、脱炭素・脱原発のために再生可能エネルギー中心のでんきを、困った時に支え合える共済を、と考えて(Think)消費材を選択(Act)しているのではないのでしょうか。

消費材の利用をはじめ、すべての活動は「Think&Act」に基づいています。Think&Actは、生活クラブにかかわるすべての人びとの行動原則です。私たちの行動(何を選択し、どのように生産し消費するか)が子どもたちの未来へとつながっています。

健康に安全に安心して暮らせる社会、住みよい地域づくりをめざして一緒に行動していきましょう。

Think&Act 生活クラブ生協大阪での活動はコレ!



1. 食の安全を追求します。

添加物や農薬をできる限り減らした(または不使用)消費材について、組合員は学習会やカタログ、クラブ通信、WEBサイトで情報を得、生産者交流会を開催し生産者から直接話を聞くことで、理解を深めています。

2. 健康な食べ方を大切にします。

ビオサポ講座で健康な食べ方を学んだり、地区やブロックの企画、組合員同士でも調理法や食べ方を教え合ったりしています。

3. 国内自給力アップをめざします。

予約登録の仕組み「よやく・る」で消費材を利用することで、持続可能な生産と消費や国内自給力のアップにつながります。

4. 遺伝子操作を行なった食物を認めません。

遺伝子組み換えの食物、飼料、添加物は認めず、やむを得ず使用している場合は表示で確認できます。遺伝子組み換えやゲノム編集の学習会を開催し、学んでいます。GMナタネ自生調査、GMOフリーゾーン宣言、ゲノム編集トマト苗無償配布への反対運動にも取り組んでいます。

5. 有害物質ゼロをめざします。

石けんやBMW生物活性水の利用をすすめ、有害物質削減に取り組んでいます。石けんや環境に関する学習会を開催し、学んでいます。

6. 自然資源を大切に使います。

7. 温室効果ガスの排出削減をめざします。

容器包装プラスチックの使用量を削減、グリーンシステムでリユースびんやピッキング袋、鶏卵のバック、牛乳キャップなどの回収とリユース・リサイクルにより、ゴミとCO<sub>2</sub>の排出削減に取り組んでいます。

8. 再生可能エネルギーを推進し、原発のない社会をめざします。

省エネ、再エネ、脱原発について学習会を開催し、学んでいます。生活クラブででんきを広める活動、政策提案として意見書の提出や署名活動にも取り組んでいます。

9. おたがいにたすけあう社会をめざします。

組合員同士のたすけあいの仕組みであるエコロ共済を広める活動、4か所の子育てひろばや託児システムを運営しています。

10. 誰もが安心して暮らせる場やしくみをつくります。

居場所よりみちの運営と第二の居場所づくりに向けた活動、がっこうの活動に取り組んでいます。

11. 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

組合員活動では何に取り組むか自分たちで考え、決め、どのように実行するか毎月話し合い実行しています。

生活クラブ連合会のWEBサイトをのぞいてください。→



「よやく・る」 予約する私、サステイナブルな暮らし 「よやく・る」

継続して食べる約束が、安心の品質、公正な価格、持続的生産につながります。

新しくなった予約・登録のしくみ「よやく・る」。利用していますか？  
クラブ通信でも「よやく・る」消費材を紹介しています。  
「ココがすごい、ココが違う!」を知って、あなたのお気に入り消費材にしてくださいね。

★今月のおすすめ

りんご

～長野の3生産者が自信をもって育てた完熟りんご～

- 環境ホルモンの疑いがある農薬と除草剤は不使用※、有機質肥料を中心に栽培した、安心なりんご
- 今年から、3生産者に増えて品種も多くなり、期間を通して安定した供給が望める
- 市販品のように日持ち優先の早取りをせずに、熟度を見極め食べごろに収穫されるので味が濃くおいしい
- 各産地とも後継者が出てきており、持続可能な生産をめざしている

※実が早い時期に落下すると収量が大きく減り、生産者の経営を圧迫するため、落下防止剤のみ使用を容認。

八ヶ塔会

長野県長野市

あくと

長野県下高井郡山ノ内町

みまきがはら 御牧ヶ原りんご農場

長野県小諸市

【アップルメイト（頒布会）企画品種】

シナノリップ、つがる、千秋、シナノドルチェ、おぜの紅、秋映、シナノスイート、シナノゴールド、シナノホッペ、ぐんま名月、王林 ほか

★アップルメイト…8月末から11月末まで、上記の品種が一番おいしい時期に計6回、品種お任せで1種類ずつ届きます。お楽しみに！

★以下の3品種に関しては、昨年までと同様のシーズン予約があります。  
紅玉とシナノスイートは9月上旬、ふじは10月上旬にチラシが入りますのでこちらも「よやく・る」してたくさん食べてくださいね。



紅玉



シナノスイート



ふじ

〈私たちが生活クラブのりんごを 食べることでつなげる未来〉

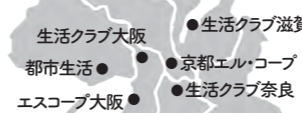
- ①環境ホルモンの疑いのある農薬を使わないことで食の安全、そして生産者の安全と環境を守り、持続可能な生産に。
- ②「よやく・る」で利用することで、生産者は安定した生産ができる → 後継者が生まれやすくなることで持続可能な生産に → 私たちは今後も安心なりんごを食べ続けることができる。

組合員の声：

- ・農薬の使用が少ないので、皮を剥かなくても安心して食べることができる。皮を剥く手間がないのもうれしい。
- ・適熟で届くので、味の当たり外れが少ない。
- ・くし型でなく、輪切り（スターカット）にすると小さな子どもでも食べやすい。
- ・紅玉で皮つきでジャムを作ると、とてもきれいな色に仕上がる。



関西独自生産者紹介 りんご生産者編 八ヶ塔会 (株)あくと 御牧ヶ原りんご農場



消費材には、生活クラブ生協連合会全体で取り組むものと、関西エリアの生協だけのものがあります。後者を生産している「関西独自生産者」は、これまで生活クラブ生協フェスタや産直春のつどいにも参加しているの、馴染み深く感じている組合員も多いかもしれません。そんな私たちの日々の食を支えてくれている生産者に、消費材を介した組合員とのこれまでの歩みや、消費材に込めた思いなどを聞きました。

八ヶ塔会

一生懸命作っている八ヶ塔会のりんごを食べてください。



- 長野県長野市 赤沼・豊野地区
- 1972年設立。千里山生協時代からのお付き合い
- 供給品目：りんご、巨峰、プルーン

生産者一人一人が組合員と接し、話し合いを重ねて今の八ヶ塔会があります。安心・安全・おいしいりんごを組合員と追求してできた、「生協生まれの信州ぞだち」のりんごです。

(八ヶ塔会 佐々木聖)



摘果作業(仕上げ)をしています。りんごは、まずはアラ摘果をして、そのあと、仕上げ摘果を行っています。



乗用草刈機に乗って、草刈りをしています。草はすぐに伸びるので、ひんぱんに作業をしています。

(株)あくと

去年より今年、今年よりも来年、おいしいりんごを作れるよう日々努力していきます。



- 長野県下高井郡山ノ内町
- 1975年創立
- 供給品目：シナノリップ、つがる、シナノドルチェ、シナノスイート、王林、シナノゴールド、ぐんま名月、ふじほか

「人と人が見える関係」を大切にしています。山ノ内町は恵まれた土地なので、肥料は使っていません。農薬もできるだけ避け、おいしくて安心して食べられるりんごを目指しています。

(あくと 畔上広大)



昨年の収穫の様子



みまきがはら 御牧ヶ原りんご農場

新しい技術を取り入れているため、比較的珍しい品種もお届けできます。



- 長野県小諸市
- 1975年設立。今年度より生活クラブ生協大阪と新たに提携が始まる
- 供給品目：シナノリップ、つがる、シナノドルチェ、シナノスイート、紅玉、シナノホッペ、ぐんま名月、ふじほか

安心安全なりんごをお届けできるように、可能な限り農薬を削減しています。また、積極的に新しい栽培方法や品種に取り組んでいます。

新しい栽培方法とは、新矮化栽培、高密植栽培という技術です。コンパクトな樹体なので、大きな樹と比べて日当たりが良く、作業の省力化が可能になりました。また、苗木を植えてから収穫できるまでの期間が数年早いのも特徴です。新しい品種にも取り組みやすいので、比較的珍しい品種もお届けできます。

(御牧ヶ原りんご農場 塩川豊貢)



新矮化栽培、高密植栽培の樹木。樹があまり横に広がらないため、より多くの樹木を育てることができる



# 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり ～一人ぼっちをなくしたい!～

居場所づくりプロジェクト主催

## 「勝部麗子さん講演会」



6/24

参加:50人

■エル・おおさか

### 講師プロフィール



#### 勝部麗子さん

大阪府豊中市生まれ。  
豊中市社会福祉協議会に入職。  
平成16年、地域福祉計画を市と共同で作成、全国で第一号のコミュニティーソーシャルワーカーになる。  
地域住民の力を集めながら数々の先進的な取り組みに挑戦。その活動は府や国の地域福祉のモデルとして拡大展開されてきた。  
NHKドラマ「サイレント・プア」のモデルであり「プロフェッショナル仕事の流儀」にも出演。  
著作:「ひとりぼっちをつくらないーコミュニティソーシャルワーカーの仕事」

豊中市社会福祉協議会で日本初のソーシャルコミュニティワーカーとして、「だれ一人取り残さない社会づくり」を実践する勝部麗子さんを招き、講演会を開催しました。今の社会状況、これまでの取り組み、今後の展望などを聞いて、生活クラブ生協大阪の福祉や、地域づくりにどう活かしていくのかを考えるきっかけとすること、福祉、たすけあいの活動に参加し、共に地域づくりを進めていく担い手を探すことを目的としています。

参加者の動機は、「勝部さんの話が聞きたかった」が最も多く、「自分がどんなことで、どのようにして、どれだけ手伝いができるのかを知りたかった」というのが2番目に多い回答でした。生き生

きと暮らせる社会、差別や排除のない社会などを目指し、地域で困っている人々を何とかしたいという思いを持って、居場所づくりを考えています。また、居場所づくりを考えているかという回答も数名あり、開催の成果として捉えています。勝部さんが実践する地域共生社会とは…

- ①一人も取りこぼさない
- ②排除から包摂へ
- ③支えられた人が支える人
- ④すべての人に居場所と役割を

「一人ぼっちをなくしたい」との思いから始められた勝部さんの活動の拡がりには感動しました」という意見が多かったです。実行にはスピード感が

あり、どのようにすれば人は幸せになれるのかをいつも考え、エネルギーに満ちあふれた勝部さんの行動はとても刺激的で、私も人のため何かできるのではないかと、いう前向きな気持ちにさせられました。

参加者アンケートの「たすけあいの活動に参加したいと思いませんか」という質問に



赤ちゃんから大人まで誰でもどうぞ!

香里ブロック「居場所よりみち」に続く、2つ目の居場所の開設に向けて検討を進めています。居場所づくりに興味のある人! たすけあいに共感してくれる人! 活動に参加しませんか? 連絡お待ちしています。【組織運営課】 072-641-5547

「身近なこと、できることから参加していきたい」「ちよつとしたお手伝いならできそう」と思われた人も多く、共に地域づくりを担う仲間になってくれればと思っています。そして、プロジェクトは第2の居場所づくりに向けて動き出しています。(居場所づくりプロジェクト 立花紀子)

## 産地研修 Part2

7/8~9

参加:大人24人  
子ども22人

### ◆八ヶ岳会

30~80代まで、幅広い年齢層の生産者が特徴で17軒の会員からなる【企画品種】 つがる・紅玉・シナノスイート 秋映・王林・ふじほか

千曲川の流域、標高333mに位置し、昔ながらの丸葉栽培。千曲川が運ぶ肥沃な土壌で栽培される。



会長の佐々木さんのお話を聞いている間、子どもたちは草刈機を運転させてもらったり、高所作業車に乗せてもらったり、おはしゃぎ!



### ◆三村牧場

三村さんは、現在3人のお子さんと共に牧場を営まれています。「3人の子もたちをここまで育てられたのは、組合員が牛乳を飲み続けてくれたからです。牛は休みなくお乳を出し続け、工場は休みなく牛乳を作り続けています。厳しい状況の中、酪農を孫の代まで続けられるかは、今回一緒に来ている子どもたちがずっと飲み続けてくれるかどうかです」と言われました。



三村牧場の生産者と、牛さんと一緒に はい、チーズ!

### ●●予約して食べるということ●●

●私たちが安全な(どこで、誰が、どうやって作ったか分かる)りんごや牛乳を、安心して(どんな人が、誰のために作ったか分かる)食べ続けるためには、生産者は作り続けることができなければなりません。

●「食べ手(組合員)」と「作り手(生産者)」がそれぞれを思い合い、食べ手は、約束した量を食べることに責任を持ち、作り手は、それを作ることに責任を持つ、この関係を大切に守り続けることが、「食べ続ける=作り続ける」には欠かせません。

今年から始まる「アップルメイト(頒布会形式)」の生産者でもある八ヶ岳会と、パステライズド牛乳の生産者である新生酪農(株)安曇野工場、そして提携酪農家の三村牧場を訪問しました。委員や理事とその子どもたちも参加し、2日間りんごと牛乳について学びました。



### ◆新生酪農(株)

高品質なパステライズド牛乳を生産するために、酪農家から届けられた生乳は、生活クラブ独自の厳しい基準の細菌検査を経て初めて受け入れられます。工場の中で殺菌された牛乳は、鮮度を保ったまま充填され、細菌検査の結果を待って私たちの元に届けられます。



### 初めての産地見学

◆八ヶ岳会のリンゴ農園  
リンゴの受粉は、以前はハチ(マメコバチ)だったところ水害のために全滅し人工授粉が主流になったこと、近年は春が早いので花も早く咲き遅霜の影響を受けやすくなったこと、他にも様々な苦労や工夫をお聞きました。興味深かったのは、A種の木の枝にB種を接ぎ木したらその芽からはB種が、C種の接ぎ木をするC種のリンゴができるということです。つまり、一つのリンゴの木から数種類のリンゴをつくることができるんですよ。  
リンゴ農家はハサミを使うのが仕事、毎日筋トレを欠かさないと80代の生産者が教えてくれました。  
◆新生酪農(牛乳工場)  
様々な洗浄につかた汚水すら無駄にせず、沈殿した汚泥は堆肥用に一般市場に出されている、環境にやさしい工場でした。  
◆三村牧場  
人なつこい乳牛がキラキラした瞳で迎え入れてくれ、いかに大切に愛情をもたてられているかがよくわかりました。  
今回見学した3か所に共通していたのは、「土日などは関係ない」ということです。しかも、乳牛はお盆もお正月も乳を搾ってあげないといけません。毎日、休日なく丹精こめて作って下さるリンゴも牛乳も(ほかの消費材も)大切にたくさん頂こうと思いました。(山田地区 三上千夏)



8月

会員数	10,716人			
給付状況	消費材の破損	2件	健康診断補助	3件
	延長保育	2件		
	託児	地区	16件/17人	暮らしのたすけあい
全体		3件/3人	33件/10人	
エッコロ事務局 ☎/FAX 072-641-5811				
		月・水・金 (10~15時)	エッコロ共済 WEB サイト	

節目祝いの申請についてのお知らせ

節目祝いの申請案内が9/12週、9/19週にカタログと一緒に配布されます。

対象は、今年60歳のお誕生日を迎え(1963年生まれの方)、消費材を継続して利用しているエッコロ共済加入者です。

締切り日(9/29提出分)までに申請書を必ず提出してください。締め切り後の提出は受け付けられません。(エッコロ共済未加入の方は申請と同時加入もできます)

生活クラブ生協大阪のホームページでも案内チラシを確認できます。

エッコロ共済は、「ちょっとお願い」「はい、どうぞ」というお互いさまの関係でたすけ合う生活クラブ生協大阪独自のシステムです。「困ったときはお互いさま」「ありがとう」をボタンにして、たすけあいのつながりをひろげていきましょう。

カネシゲファーム・ルーラルキャンパス (KF-RC) の土地取得完了の報告

土地取得のためのカンパを2021年10月に実施(生活クラブ大阪では1,239口619,500円)、APLA※を通じて現地に届け、土地取得に向け手続きが進められていました。

2023年6月に農園の土地の権利が正式にKF-RCのものとなった旨、APLAより報告がありました。



KF-RC スタッフと第9期研修卒業生

KF-RCでは、ネグロスの人々が農園労働者として地主の下で賃金を得る生活ではなく、農民が農業で当たり前

前に暮らしを立てられるよう、「農民としての自立」を目指した取り組みを続けています。KF-RCの土地を取得することは、「農民としての自立」をめざす取り組みを将来にわたり継続的なものにしていくことを意味します。

※APLA(あぷら)は、日本を含むアジア各地で「農を軸にした地域自立」をめざす人びととどうしが出会い、経験を分かち合い、協働する場をつくり出すことを目的に、2008年に特定非営利活動法人として発足。

脱原発・脱石炭火力！ 再生可能エネルギーの推進を加速させよう！



9/1~11/30まで、署名活動に取り組みます。

署名方法は①又は②

- ①生活クラブ連合会 WEB サイトより署名フォームへの入力
- ②署名用紙(全体配布又は WEB サイトよりダウンロード)を提出

9/25~配布の自然エネルギー委員会ニュースも見てください。

エネルギーのあり方を変え、安心して暮らせる未来を残すための提言です。

ご協力宜しくお願いします。



生活と自治

2023年7月号

連載 この人に聞きたい 滝沢秀一さん①

「ごみ清掃芸人」に聞く、知られざるごみの世界

猛暑で幻影、命の危険を目の当たりにされながらの収集。ゴミゼロに思うのが本当にお世話になっている。「ごみの出し方は習わない」本当にそう。分別することで環境に貢献しているつもりになっていたかも。袋に入れて家の外に出したら「後は知らない」ではなにも変わらない。ゴミにならない暮らしの工夫を。ゴミを買わない知恵を、出し方の前に気づきたい。そもそも「ゴミとはなにか？」を考える必要があると痛感した。(大東地区 山田ひろえ)

一人ひとりの購読料(100円)で成り立っています。

理事会報告

7月24日

J・COM中央区民センター

○「タイヘイ生産者交流会」活動計画を決定

○シャボン玉月間首長メッセージの取り組みを確認。18自治体より協力があつた。

○エネルギー政策提案活動として署名活動(9~11月)に取り組みを確認

○夏の共済キャンペーン中間報告を確認

つぶやき



2人目の孫が生まれ、ヘルプに行く機会が増えた。お兄ちゃん保育園へのお迎えの時間、お兄ちゃんや、ママが病院へ行く時間など、ばあばは大忙しのうれしい悲鳴。

そうでなくても、まだまだママが良いというお兄ちゃん。下の子の抱っこはばあばの出番。おかげで、私の声も顔も覚えてくれていたのか、会えば満面の笑みをくれ、抱っこと手を出してくれ、癒してくる。

離乳食も始まり、大人のご飯をただ漬して...と、3人目のいい加減な記憶しか残っておらず、○か月の離乳食...のページを思わず検索!! (I)